

I 事業の概要

通常評価

I-1 事業の概要

事務事業名	イベント等のエコ化の推進	所管局部課等	環境政策局循環型社会推進部循環企画課
ホームページアドレス	http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000082881.html	(連絡先)	213-4930
		(評価票作成者)	循環企画課長 牧村 雅史

22決算額 (千円)	23予算額 (千円)	今後の方向性	24予算額 (千円)	目標達成度評価
3,286	8,400	現状のまゝ継続	8,100	指標：リユース食器の導入などイベントグリーン要綱に掲げる取組を実施するイベント数
業務運営方法	☐ 直営 ☒ 部分委託 ☐ 部分補助等 ☐ 全部委託 ☐ 全部補助等	委託(補助)先の名称、委託(補助)の内容 委託先：特定非営利活動法人地域環境デザイン研究所ecotone、リユース食器普及に向けた「お試しキャラバン」企画運営業務		かなり悪い 悪い 普通 良い かなり 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% 110% 120% H20年度 H21年度 H22年度
実施根拠 (法令、条例、規則、要綱等)	京都市循環型社会推進基本計画（2009－2020） 京都市エコイベント実施要綱			事務事業の性格 ☐ 義務的事業 ☒ 任意的事業
開始時期	平成 22 年度	終了(予定)時期	平成 年度	類型 1 1 その他
				会計区分 ☒ 一般会計 ☐ 特別会計

事業概要	対 象	(誰を、何を) 京都市内で行われる祭り、観光行事、学園祭、スポーツイベント等
	活 動 内 容	(どのような手段で) 環境配慮型イベント実施の手引きとなる京都市エコイベント実施要綱を策定し、その適用を市主催イベントから民間イベントにまで広げていく。
	目 的	(どのような状態にしたいのか) イベント主催者と共に、ごみの発生抑制、リサイクル推進、グリーン購入推進、省エネ推進、公共交通機関の利用促進、来場者への環境意識のPRなどを実践する、イベントのエコ化を実現していく。

I-2 投入量

年間経費等推移 (千円)	No.	区分		H20年度決算	H21年度決算	H 2 2 年度決算	H23年度予算	H24年度予算
	①	事業費 (千円)				3,286	8,400	8,100
		需用費（コラボボトル等作成経費）				493	400	600
		負担金補助及び交付金（イベントへの助成）					5,500	5,000
	①'	委託料	エコイベント冊子の作成委託			2,793	2,500	2,500
	②	委託料が事業費に占める割合（①' ÷ ①） (%)				85.0%	29.8%	30.9%
	③	人件費（24年度は見込） (千円)				8,766	7,094	7,700
		職員(課長級) (人)				0.09	0.03	0.04
		職員(課長補佐級、係長級) (人)				0.26	0.34	0.34
		職員(係員) (人)				0.62	0.40	0.46
		嘱託職員等人件費 (千円)						
	④	年間経費（①+③） (千円)				12,052	15,494	15,800
	⑤	特定財源（市税等の一般財源以外） (千円)				3,286	8,400	8,100
		国庫・府支出金 (千円)						
		受益者負担分(使用料, 手数料等) (千円)						
		その他(基金繰入金) (千円)				3,286	8,400	8,100
⑥	京都市年間負担経費（④－⑤） (千円)				8,766	7,094	7,700	
⑦	受益者負担率（受益者負担分÷④） (%)				0.0%	0.0%	0.0%	

Ⅱ 評価結果

事業名 イベント等のエコ化の推進

Ⅱ-2 業績評価（Ⅱ-1 市民と行政の役割分担評価は「通常評価」のため省略）

A 目標達成度		指標名	区分	単位	H20年度	H21年度	H 2 2年度	H23年度	H24年度
指標 1	リユース食器の導入などイベントグリーン要綱に掲げる取組を実施するイベント数	目標値 …①	件				20	40	85
		実績値 …②	件				14		
		目標達成度 (②÷①)	%				70.0%		
	指標の種類	増加することが良いとされる指標		評価			普通		
指標 2		目標値 …①							
		実績値 …②							
		目標達成度 (②÷①)	%						
	指標の種類			評価					
				総合評価					

	指標の選択理由			目標値設定の考え方			
指標1	イベントのエコ化の普及状況を見るのに、実際にエコ化されているイベント数を数えることが、最も適していると考えられるため。			市主催イベントや学園祭など、平成23年度において、リユース食器の導入が可能であると考えられるイベント数を目標として設定した。			
指標変更の有無	☐ 有 ☒ 無	指標名		適用年度		単位	
指標2							
指標変更の有無	☐ 有 ☒ 無	指標名		適用年度		単位	
分析	<実績値の変動理由等> 平成22年度から開始された事業であり、実績値の変化は生じていない。						

B 効率性	No.	区分	単位	H20年度	H21年度	H22年度
	①	イベントグリーン要綱に掲げる取組を実施するイベント数	件			14
	②	年間経費（事業費及び人件費の合計額）	千円			12,052
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位			860,841
	④	単位当たり経費変動率				
				評価		
分析	<コスト変動の理由等> 平成22年度新規事業なので、コスト変動は生じていない。					

C 市民参加度	企画段階	☐ 高	☐ 中	☒ 低	☐ 無	<現状分析、今後の方針等> 市主催イベントを除いては、市内で開催されるイベントの多くは市民の力で実施されているものであり、当事業が効果を挙げられるかどうかは、市民参加を得られるかどうかという点が最も重要である。
	実施段階	☒ 高	☐ 中	☐ 低	☐ 無	
	評価段階	☐ 高	☐ 中	☐ 低	☒ 無	
D 市民満足度	<調査の有無>					<調査結果、現状分析等>
	☐ 有 ☒ 無 ☐ 該当しない					
	<調査方法>		<調査時期>			
E 環境保全 及び環境負荷 軽減の要素	☒ 環境 ☐ 関連 ☐ 一般					<現状分析、今後の方針等> 当事業は、環境保全、環境改善を目的としたものである。

平成23年度の実施状況	4月に民間イベント向けのリユース食器利用促進助成制度を創設。同制度やエコイベント・アイデアBOOKの活用により、70件以上のイベントで京都市認定エコイベントへの登録が行われている。また、11月には、リユース食器の普及促進に向け、その効果や魅力をPRする「お試しキャラバン」を実施した。
-------------	--

市会・監査・外部機関等からの指摘	
------------------	--

Ⅲ 今後の方向性

(今後の方向性の理由及び具体的な内容)	
現状のまま継続	京都市内で開催されるあらゆるイベントでエコ化の取組が実践される風土を醸成するため、民間イベント向けのリユース食器利用促進制度による助成を継続する。